

特別整理期間中は こんなことをしていました(^_^)

八女市立図書館は、本館 9月1日～11日、分館 9月15日～19日まで、特別整理期間のため休館いたしました。その間、利用者の皆さまには、たいへんご不便をおかけしました。利用者のかたから「長いお休みでよね。」などよく言われますが、職員はこの期間中、大奮闘しているのです。今年は、蔵書点検をはじめ、皆様により気持ちよく利用していただくために、棚の整理や掃除、移動などを行いました。お気づきになられたでしょうか？

蔵書点検とは？

図書館で所蔵している資料が正しい場所に収まっているか、行方不明のものがないかを点検する作業のことをいいます。八女市立図書館では、毎年1回この作業を行っています。この結果、本館だけでも157点もの資料がなくなっていることがわかりました。



●狭い書庫の中は、ほこりとの闘いでもあります。



●本に貼ってあるバーコードを、POTという端末機で1冊1冊読み取ります。読み漏れがないように慎重に行います

●集めた在庫情報をシステムに転送し、これをもとに所在不明資料の館内検索をおこないます。書架の後ろに入り込んだり、薄い本は他の本にはさまったりしている場合もあります。

不明資料

下記は、2014年以降に図書館に入ったもので、不明になっている本の「一部」です。限られた予算で、新刊本やリクエストの本を購入するため、不明本の再度の購入はできません。図書館の資料は、市民の皆さんの大切な財産です。マナーを守り、気持ちよく図書館を利用しましょう。

- ◆教団X 中村文則/著 集英社
- ◆流星ワゴン(文庫) 重松清/著 講談社
- ◆淡々黙々 内田篤人/著 幻冬社
- ◆ライアー 大沢在昌/著 新潮社
- ◆るるぶハワイ'15 JTBパブリッシング

昔、図書館では、「曝書」(ばくしょ)という作業がありました。「曝書」とは、本を虫干しすることです。当時の蔵書点検は、季節の良い頃に実施している図書館が多かったようです。

としょかん大人塾

第2回 「読み聞かせを科学する」 脳にいい話ばかりでした！



8月2日(日)、脳科学・認知心理学の立場から「読み聞かせ」や「読書への導きかた」について講演をされている、心理カウンセラーの内海義彦先生をお迎えして、2回目の「としょかん大人塾」を開催しました。読み聞かせを聞く人(子ども)とする人(大人)の脳の活動の様子や、子どもの記憶に残っていることなど、読み聞かせが与える脳への影響について教えていただきました。声に出しての音読や俳句などの創作も、脳にはいい刺激になるそうですよ～！

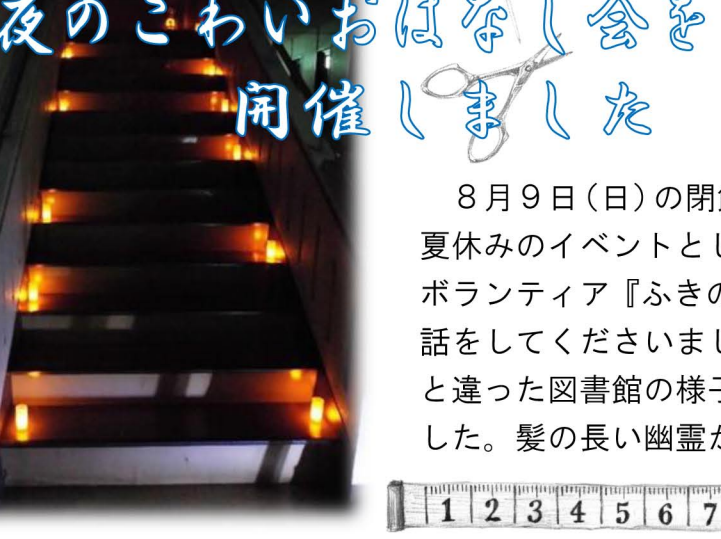


「としょかん大人塾」って？

八女市役所 地域づくり・文化振興課が「市民との協働によるまちづくり」提案事業として実施。昨年度に引き続き、私たちの事業も採択されました。今年度も、「読書を通じた市民生活向上応援プロジェクト」と総称し、講座を6回開講しています。「楽しく学ぶ」をモットーに、多様なジャンルの講座をご用意しました。当講座がみなさんの元気づくりのお手伝いできれば、幸いです。

受講生募集中！ 「新春！俳句を作ってみよう」

平成28年1月24日(日)
講師：八女市文化連盟 俳句部
堤 呼秋さん
詳しくはお問合せください



8月9日(日)の閉館後…真っ暗になった図書館の中に響く悲鳴…。夏休みのイベントとして、夜のこわいおはなし会を行いました。音訳ボランティア『ふきのとう』のみなさんが、夏にぴったりのこわいお話をしてくださいました。暗闇の中、ぼつぼつと竹灯りが灯るいつもと違った図書館の様子も、たくさんの方に楽しんでいただけたようでした。髪の毛の長い幽霊が現れたというウワサも…？

おしえて！英くん Part 3

おおぶち えいです

名前：おおぶち えい
生まれ：大淵小学校

えいくんの頭をなでると勉強運がUPするかも…？
えいくんを見つけたら優しくなでよう！



Q. 知り合いに頂いた「マテ茶」というお茶の効力などを知りたい。

A. マテ茶は、コーヒー、紅茶と並ぶ世界三大飲料のひとつでアルゼンチン、ブラジル、パラグアイで生産されています。鉄分やカルシウムを含み、ビタミンや食物繊維も豊富です。そのため、疲労回復や食欲の増進、また、持続的に飲めば血液の浄化や貧血の改善、さらには美容にも効果を発揮します。

【提供資料】

- ・『世界のお茶、ふだんのお茶』ティータイム・ブックス編集部(596セ)
- ・『世界の名茶事典』講談社(596セ)
- ・『茶の大事典』窪川雄介・福島敬一編(619チ)

図書館では皆さんの調べもののお手伝いをしています。ここでは皆さんから寄せられた質問の一部をえいくんが紹介します。

布えほん講座を行いました



9月12日・26日に布えほん講座を行いました。講師『布の絵本作りボランティアふわふわ』のみなさんと一緒に、楽しいぞうた布えほんを作りました！普段の針仕事とは違い、細かい作業が多い布えほんに、はじめて参加した方からは「意外とむずかしい」との声もありましたが、ふわふわさんの丁寧な指導のもと、楽しく和やかな雰囲気の中で、作品が仕上がりました。



第7回 八女市内のボランティア紹介

八女市立岡山小学校
読書ボランティア

たまたばこ

平成16年4月、これまでの親子読書会を改称し、岡山小学校読書ボランティア「たまたばこ」として絵本の読み聞かせ等のボランティア活動を始めました。

平成21年度までは年5回の読み聞かせでしたが、当時の校長先生から「毎週でも構わないですよ。」とのお言葉を戴き、平成22年5月からは月1回、朝の会時に全クラス一斉読み聞かせを行っています。また、小学校主催の図書館まつりに毎年参加させて頂いており、メンバー総てで大道具小道具を製作して「おさるとほうしうり」「ぶす」「てんしき」の公演を続けています。

「たまたばこ」の活動のモットーは「細く長く」です。派手な活動はしなくても、長く続けていこうということです。そのためには後継者が必要です。現在17名のメンバーがいますが、人手が足りない時には、先生方(校長先生等)にお願いしている状況です。ということで、メンバーを随時募集しております。読み聞かせは、すなおに、飾り気なく、ゆっくりと心をこめて、はっきりと読めばよいのです。

岡山小学校区にお住いの方で、読み聞かせをやってみたく思われる方は、岡山小学校(0943-22-4701)の原田先生までご連絡下さい。どうぞよろしくお願致します。

図書館員のおすすめ

BOOK

『紙つなげ！彼らが本の紙を造っている』
佐々 涼子/著
早川書房(585サ)



東日本大震災で被災した日本製紙石巻工場。震災からの復興の物語が綴られた秀逸なノンフィクション。紙に関わるさまざまなエピソードが描かれていて、本好きにはたまらない1冊です。「本って紙でできているんだ」と当たり前なことに感謝できる本です。

『長いお別れ』
中島 京子/著
文藝春秋(913ナ)



認知症高齢者の数は2012年の時点で全国に約462万人と推計されており、約10年で1.5倍にも増える見通しだといわれています(厚生労働省)。そんな認知症老人と家族の日常を描いた物語。タイトルの『長いお別れ』という意味が最後の3ページでわかります。

読み聞かせをしてもった子どもたちは、大人になったら子どもたちに絵本を手渡す人になると信じて活動をしています。